

図書館からのお知らせ

絵本であそぼ 企画
「ちくちくクラブ」参加者募集

春を待ちながら、あたたかいお部屋でちくちくお裁縫を楽しみませんか？
今回は、絵本『わたしのワンピース』(にしまきかや作・こぐま社)に出てくるワンピースうさぎを作ります。



期 日：2月2日(土)
10:00~12:00

場 所：トレーニングセンター
「めばえの部屋」

持ち物：裁縫道具・ワンピース用の布
定 員：10人(定員になり次第しめきります)

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館へ

BOOK No.39

編集=山形村図書館

本の世界へ

「ホップステップジャンプ！」 セカンドブック事業始めました

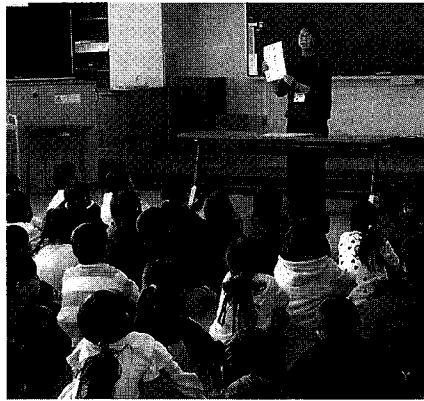
山形村ではお子さんが生まれると、「ファーストブック」はじめての絵本をプレゼントしています。

子どもたちは、まわりの大人たちからたくさんの本を読んでもらって一年生になります。ところが、文字を覚え始めると本を読んでもらう機会が減ってきます。スラスタラひとり読みするのがまだ難しいこの時期、本から離れてしまう子の多いことが気にかかっていました。

そこで、本に親しむきっかけにしたいと、今年から「セカンドブック」2冊目の本をプレゼントすることにしました。15冊のリストの中から、子どもたちにそれぞれ欲しい本を選んでもらい、こんなメッセージを添えて12月6

日にプレゼントしました。

「本って『どこでもドア』みたいなもの。ドアを開けると、電車や飛行機に乗らなくても世界中旅ができるし、外国の人や妖怪や宇宙人にだって会えるし、不思議だね、なんでだろうって疑問に思っていることの答えが見つかったりします。これはあなたの本です。みんなが本の世界に大きくジャンプしてくれるといいなあと期待しています。」



司書ってどんなお仕事？ 小学生が職場体験しました

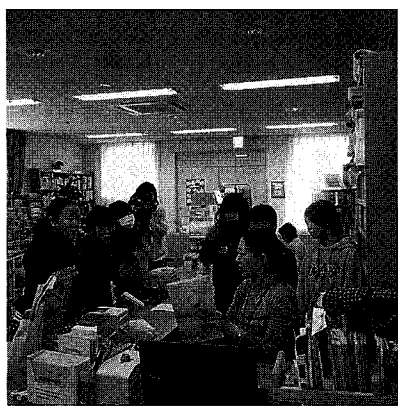
12月6日(木)、山形小学校の5年生6人が、職場体験学習「山小ハローワーク」に来てくれました。いろいろな図書館の仕事を、2時間にギュッと凝縮して体験してもらいました。

開館前やって来た6人は、日ごろから図書館に親しんでいるよ

うでやる気満々です。開館準備を説明すると、「私が机をふきます」「私たちがカーテンを開けます」と自主的に仕事を始めました。

書架の整理では、棚の手前に本の面をそろえます。新刊本の受け入れでは、本にバーコードを貼ったり、本の情報を登録したりと、一冊の本が棚に並ぶまでにはいろいろな手続きがあることを知りました。カウンターでの本の返却・貸出しは、利用者さんとのコミュニケーションが大切です。本探しのお手伝いをするレファレンスサービスでは、「年齢に合わせてたり、複数の本を紹介すると親切なんだ」と感心していました。

将来は司書になりたいという思いの子も多く、一生懸命に仕事に取り組む様子が頼もしかったです。「蔵書点検もやってみたい」という声もあがりました。よし、来年の蔵書点検は、小学生にもボランティアを頼もうかしら？



おすすめ新着本紹介

『カテリネッタとおにのフライパン』 剣持弘子訳(こぐま社)

鬼からフライパンを借りたおにに、ドーナツをあげて約束をしたカテリネッタ。でもついつい自分で食べてしまつて、大変なことに！イタリアの食べ物にまつわる昔話を集めました。



『世界一おいしい火山の本』 チョココアで噴火実験
林信太郎 (小峰書店)

火山学者の林先生が、チョコココアを使った実験を通して火山について解説します。おいしく楽しく、火山を知ろう！



『ナチュラリスト 生命を愛でる人』 福岡伸一 (新潮社)

「生命とは何か」を追求してきた著者が、「ドリトル先生」のようなナチュラリストたちを訪ね歩きます。



『さよなら、仏教』 高橋 卓志 (亜紀書房)

松本市の神宮寺元住職が、古い仏教の常識を脱ぎ捨てて、新しい仏教の地平を求めめる再誕の旅へ。



NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」で紹介されました。